

## 雲部のフアンを増やすために

旧雲部小学校を再利用した「里山工房くもべ」を拠点に、4月から地域おこし協力隊として活動しています。  
私の担当する雲部地区は、四季折々の変化が豊かで、食べ物がおいしく、何よりも親切で温かい人が多い地区だと感じています。社会人1年目で至らない点が多い私ですが、周囲の方に助けをもらいながら、仕事を進めています。  
新しくスタートした地域おこし協力隊としての生活で、自分自身が実感したことも含めて、雲部の魅力、篠山の魅力を伝え、多くの人に雲部に足を運んでもらえるようにしていきたいと思っています。

### 閉校の雲部小学校 校舎をまるごと再生

私が働く「里山工房くもべ」は、カフェや農産物直売所、職人の方のアトリエがある施設です。  
近年では閉校する学校が増え、その跡地を活用した施設が増えつつあります。そのような中で、雲部地区は地域住民が協力して合同会社を設立し、主体的に運営するという取り組みで注目を集めています。  
ボランティアの清掃活動なども定期的に行われ、まさに地域で協力して運営している施設です。  
くもべのカフェでは、飲み物だけでなく、地元の方が地元の食材で

使った調理した「くもべ定食」を提供しています。この定食はテレビや雑誌などでも紹介されており、くもべの看板メニューとなっています。「野菜が新鮮でおいしかった」「懐かしい味がした」といったお客さまからの声も多く、特に都会からのお客さまに高い評価を得ています。中にはリピーターの方もいて、週替わりの定食を楽しみにされています。  
一方で地元の方の利用も多く、友達同士でお茶を飲みに来たり、スタッフに会いに来てくれたりと、地域の交流の場にもなっています。  
アトリエを構える職人の方々も展示会や個展、ワークショップを行っており、積極的な活動をされています。

### 「くもちゃんマーク」の農産物

雲部からは週1回、神戸の元町商店街にある「元町マルシェ」に野菜を出荷しています。野菜は雲部だけでなく他地区から出荷されている方もおり、この日は集荷場が朝早くから出荷農家の方でにぎわっています。  
出荷する雲部の野菜には、雲部の



毎週木曜日は、集荷場に農家の皆さんの野菜が集まり、トラックで運ばれます。



とれたて野菜に「くもちゃんマーク」



神戸元町にあるアンテナショップ「元町マルシェ」

### 里山工房くもべ

「里山工房くもべ」facebookでさまざまな情報を発信中!



ハロウィーンの飾り付け



里山工房くもべのカフェ。旧職員室を改修し、おしゃれでどこか懐かしい雰囲気があります



カフェの他にも校舎内の空き教室は野菜市、アトリエ、企画展などさまざまな用途で活用されています



夜桜カフェ



カフェで提供される「くもべ定食」。里山の恵みをふんだんに使ったやさしい味わいが身の上です

### 目標は雲部のフアンを増やすこと

シンボルのかわいい「くもちゃんマーク」が付いており、他の野菜より目立つように工夫されています。中には雲部産の野菜を目当てに買い物に来る人もいます。元町マルシェだけでなく、地域間交流として尼崎や明石で行う産直市でも野菜はすぐに売れてしまいます。  
篠山の「食」と言えば黒豆・栗というイメージですが、私は野菜を中心に多様な篠山の「食」を多くの人に知ってもらいたいと思っています。  
最近では神戸にあるパン屋さんと連携して、雲部の野菜を使ったパンを作ってもらうなど、地道なPR活動もしています。

らではの料理にとっても喜んでおられます。どこか懐かしく、やさしい味わいのする里山工房くもべでしか食べられない、雲部らしい「食」の魅力をこれからも広めていきたいと思っています。  
雲部には他にも多くの魅力があると思います。ツーリングやドライブの途中で立ち寄る方も多く、その人たちはこの地域の豊かな自然に魅力を感じるそうです。また、移住して来た方は、「親切な方が多く、来てよかった」と話されています。  
人と自然、そして雲部地区のシンボル「里山工房くもべ」の魅力を伝え、これからは何度も足を運びたいかなるような地域づくりを住民の方々と協力して進めていきたいと思っています。



地域おこし協力隊 (雲部地区担当) 石坂 将一さん



里山工房くもべ×元町マルシェ 農業体験ツアー

- 2>9 特集
- 10>11 街かどレポート
- 12>17 タウンピククス
- 18>21 市政リーダー
- 22>23 ささやまホットステーション
- 24>25 はぐくみ
- 26>29 施設情報・相談
- 30>35 インタビュー